

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 29 [2017] 年度 第 5 回 議事録

担当：峯岸邦夫

| | | | |
|-----|--|-----|-------|
| 日 時 | 平成 30 [2018] 年 3 月 6 日 (火) 14:00-16:40 | 場 所 | 地盤工学会 |
|-----|--|-----|-------|

| 出席者 | | | 資料 番号 | 配 付 資 料 |
|---------------|-------|---|----------|--|
| 部長* | 仙頭 紀明 | ○ | 29.5.0 | 平成 29 年度 [2017 年度] 第 4 回基準部会議事録 (案) |
| 理事* | 堀越 研一 | ○ | 29.5.1 | 平成 30 (2018) 年度事業計画、予算 |
| 幹事 | 峯岸 邦夫 | ○ | 29.5.2 | 予算執行状況、書籍売上・在庫数 |
| 部員 | 浅田 素之 | ○ | 29.5.3 | 平成 30 年度 (2018 年度) 事業計画「まえぶん」「本文」 |
| 部員 | 伊貝 聡司 | ○ | 29.5.4 | (回覧) 会員意見に関する対応案・公示 14 規格案 |
| 部員 | 海野 寿康 | × | 29.5.5 | 改正基準案「岩石の弾性波速度計測方法 (案)」 |
| 部員 | 小早川博亮 | ○ | 29.5.6 | 新規基準案「軟岩の変形特性を求めるための繰返し三軸試験方法 (案)」 |
| 部員 | 肴倉 宏史 | ○ | 29.5.7 | 新規基準案「岩石の供試体の作製方法 (案)」 |
| 部員 | 佐藤 毅 | ○ | 29.5.8 | 岩盤の三軸圧縮試験及び一軸引張り試験方法基準化 WG の設立趣意書、(回覧) 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討に関する報告書 |
| 部員 | 武政 学 | × | 29.5.9 | (回覧) 解説原稿「地下水面上部の地盤を対象とした透水試験方法」 |
| 部員* | 中村 貴久 | × | 29.5.10 | (印刷版なし) 技能試験実施委員会 活動検証・再評価 WG 最終報告 |
| 部員* | 平井 貴雄 | ○ | 29.5.11 | 見積書 |
| 部員 | 藤原 照幸 | ☆ | 29.5.12 | 理事会議事録 (2017/11/24, 12/22, 2018/1/26, 2/23) |
| 部員 | 宗像 保男 | × | 29.5.13 | 経産省受託事業計画変更 |
| 部員* | 吉田 敬 | ☆ | 29.5.14 | 平成 30 年度標準化テーマ調査票 |
| ※ | 中川 直 | | 29.5.15 | JSA からのメール |
| ※ (英訳 委員長) | 竹下 祐二 | | 29.5.16 | 仕様書、見積書 |
| ※ (副会 長) | 古関 潤一 | × | 29.5.17 | ISO 国内委員会 国際会議派遣報告 |
| | | | 29.5.18 | 第 3 回地盤調査規格・基準委員会 |
| | | | 29.5.19 | 地盤工学会への問合せと回答 |
| | | | 29.5.20 | J G S 基準杭の鉛直載荷試験方法の改訂検討WGの報告 |
| 事務局 | 齋藤/長尾 | ○ | 29.5.21 | 地盤工学会基準英訳事業収支、ちらし |

※オブザーバー

* : 本年度新任 ◎ : 代理出席

○ : 出席 × : 欠席

☆ : 出席 (電子会議) △ : 未定

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料—29.5.0, pp.1-6)

峯岸幹事より、資料に基づき説明があり、すでにメールで送信しているため再度ご一読頂き、訂正等がある場合は部会終了までに申し出ることになっていたが、特に異論なしで承認された。
2. 全体関係
 - (1) 平成 30 [2018] 年度 第三次予算、2017 年度決算見込 (資料—29.5.1, p.7)

仙頭部長より、資料に基づき 2018 年度第三次予算について説明があり、承認された。また、齋藤事務局より 2017 年度の決算見込みが説明され、承認された。
なお、審議の際に第二次予算より会議費等を大幅に削減したことが、仙頭部長より補足説明された。
 - (2) 予算執行状況、書籍売上・在庫数 (資料—29.5.2, pp.8-11)

齋藤事務局より、資料に基づき 2017 年度の予算執行状況、書籍売上・在庫数について説明され、出版物の最終的な売上げは約 1400 万円程度になることが説明され、確認された。
 - (3) 平成 30 年度 (2018 年度) 事業計画「まえぶん」本文 (資料—29.5.3, pp.12-13)

仙頭部長より、資料に基づき 2018 年度事業計画「まえぶん」について説明があり、承認された。
 - (4) 翻訳出版『打戻し施工によるサンドコンパクションパイル工法設計・施工マニュアル』*メール審議済み
・翻訳出版の申し出は辞退
 - (5) 70 周年記念行事候補案* 1 月 18 日メール審議済
・『『地盤材料試験の方法と解説』(赤本) 改訂版の 2019 年度出版』を推薦
 - (6) その他
特になし
3. 委員等の異動【理事会報告*】*招請委員は理事会審議
 - (1) 室内試験規格・基準委員会
特になし
 - (2) 地盤調査規格・基準委員会
特になし
 - (3) ISO 国内委員会
特になし
 - (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
特になし
 - (5) 表記法検討委員会
特になし
 - (6) 技能試験実施委員会
特になし
 - (7) 基準英訳化に関する実行委員会
特になし
 - (8) 部員の異動 交代
特になし
4. ISO 国内委員会 関係
特になし
5. 地盤工学表記法委員会 関係
特になし
6. 室内試験規格・基準委員会 関係
【理事会審議】 (1) 平成 29 年 10 月及び平成 29 年 11 月公示 JIS 規格案についての会員意見に関する対応案
回覧 (資料—29.5.4, pp.14-186)

吉田部員より、資料に基づき会員意見の ISO との関係性、有効数字について、使用する試験器具のメンテナンス等についての意見に関する対応について説明があり、承認された。なお、試験器具のメンテナンスについては、次回の基準改定で対応するとのことであった。

 - (2) 改正基準案「岩石の弾性波速度計測方法(案)」【理事会報告】*公示の報告 (資料—29.5.5, pp.187-201)

吉田部員より、資料に基づき標記試験方法について、物理的性質の試験法から力学的試験への変更に伴い名称を一般的にしたことと基準番号が変更になることが説明され、承認された。なお、JIS 用語については、伊貝部員が確認することになった。
 - (3) 新規基準案「軟岩の変形特性を求めるための繰返し三軸試験方法(案)」 (資料—29.5.6, pp.202-230)

吉田部員より、資料に基づき標記試験方法について、現行の JGS0543 では軟岩に対応できないため新たに基準を検討したことが説明され、各部員において内容を精査し、気づいた点があれば一週間以内に吉田務印へ申し出ることになった。なお、JIS 用語については、伊貝部員が確認することになった。
 - (4) 新規基準案「岩石の供試体の作製方法(案)」 (資料—29.5.7, pp.231-238)

吉田部員より、資料に基づき岩石の各試験に用いる供試体の作製方法について共通する部分を抜き出し整理をした基準案が説明され、各部員において内容を精査し、気づいた点があれば一週間以内に吉田務印へ申し出ることになった。

とになった。なお、本基準が制定された後は、各試験方法より供試体の作製方法については削除することが補足説明された。なお、JIS用語については、伊貝部員が確認することになった。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

【理事会報告】(1) WG15 からの岩盤の三軸圧縮試験及び一軸引張り試験方法標準化 WG の設立趣意書提出について **一部回覧 (資料—29.5.8, pp.239-293)**

武政部員に代わり仙頭部長より、資料に基づき標記 WG の設立について説明があり、2018 年度予算に活動費を計上していないので地盤調査法の予算でやりくりすることで承認された。

(2) 新規基準「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」の解説 (案) **回覧 (資料—29.5.9, pp.294-362)**

武政部員に代わり仙頭部長より、資料に基づき説明があり、承認された。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

(1) 杭の鉛直載荷試験基準の改訂WGの設置 **(資料—29.5.7.20, pp.418-420)**

平井部員より、資料に基づき説明があり、改定については承認された。なお、趣意書については次回への継続審議となった。

9. 技能試験実施委員会 関係

(1) 平成 29 年度技能試験報告書 *1月18日メール審議済

仙頭部長より、理事会で報告したことが報告された。

(2) 技能試験実施委員会 活動検証・再評価 WG 最終報告

*1月17日メール審議済

印刷なし **(資料—29.5.10, pp.363-372)**

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係

【理事会報告】(1) 地盤工学会基準英訳版 (vol.3) の発行部数・価格*1月9日メール審議済
・300部 定価8,000円 (税別)

11. 基準部所管刊行物

(1) 『新規制定地盤工学会基準・同解説 過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法 (JGS 0271-2016)』の品切れへの対応 **(資料—29.5.11, pp.426-428)**

齋藤事務局より、資料に基づき説明され、100部印刷で承認された。また、発注は今年度予算で行うことになった。

12. その他

(1) JIS ハンドブックの構成*1月18日メール審議済

・土質・地盤調査規格を「土木Ⅰ」から「土木Ⅱ」に移動 (土木Ⅰはコンクリート製品・土木資材に特化)

報告事項

1. 理事会 (2017/11/24, 2017/12/22, 2018/1/26, 2018/2/23) 開催報告 **(資料—29.5.12, pp.373-391)**

仙頭部長より、資料に基づき基準部関連事項の報告がなされた。

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

・経産省受託事業計画変更

・2017 年度予定

(資料—29.5.13, pp.392-397)

| (相手先) | (金額) | |
|-------------------------------------|----------|----------|
| | 助成 | 受託 |
| ・三菱総合研究所/経産省 (TC182 広域地盤モデル WG) | - | ※380 万円 |
| ・三菱総合研究所/経産省 (TC190/SC3/WG10 運営 WG) | - | 760 万円 |
| 小計 | - | 1,140 万円 |
| 合計 | 1,140 万円 | |

※防災科研と共同提案。防災科研分 約 538 万円、JGS 分 約 457 万円。

→10月に予定していた国際会議の中止などによる減額申請を行い、JGS分 約 380 万円

浅田部員および齋藤事務局より、上表および資料に基づき説明がなされた。

【理事会報告】② 平成 30 年度標準化テーマ調査への調査票提出 **(資料—29.5.14, p.398-403)**

浅田部員より、資料に基づき説明がなされたが、次回から基準部会で審議をしてから申請することになった。

【理事会報告】③ JSA 公募「地盤環境」2 件の取下げ **(資料—29.5.15, p.404)**

浅田部員より、資料に基づき地盤環境に関する基準案 2 件の申請取り下げについて報告がなされた。

④ 防災科研受託事業 (TC182 広域地盤モデル WG) (総務部審議予定) **(資料—29.5.16, pp.405-408)**

浅田部員より、資料に基づき報告がなされた。

【理事会報告】⑤ 国際会議派遣 **(資料—29.5.17, p.409)**

浅田部員より、資料に基づき報告がなされた。今後は、費用 (航空券代等) を検討することになった。

(2) 地盤工学表記法委員会

伊貝部員より、3/2 に JISC へ出席し、地盤工学用語の JIS 原案について説明を行ったとの報告がなされた。

(3) 室内試験規格・基準委員会

特になし

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① 第3回地盤調査規格・基準委員会 開催報告

(資料—29.5.18, pp.410-413)

武政部員に代わり小早川部員により、資料に基づき説明がなされた。

② 地盤工学会への問合せと回答

(資料—29.5.19, pp.414-417)

武政部員に代わり小早川部員により、資料に基づき説明がなされた。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

特になし

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

【理事会報告】① 地盤工学会基準英訳版 vol.3 の発刊

(資料—29.5.21, pp.422-425)

仙頭部長より、3/6 の午前中に業界紙4誌にプレスリリースを行ったこと、予算については寄付金によって黒字であることについて報告がなされた。

(8) ウェブページ

特になし

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

(1) JISC 第9回土木技術専門委員会への出席（地盤工学用語、動的コーン貫入試験方法）

伊貝部員より、3/2 に出席したとの報告がなされた。

5. 審議中の規格・基準

| 基準名 | 担当 | | 承認 (提出) | | | | | 検 討 結 果 | 一 覧 * | 刊行 |
|--|---------|----|--------------|----------------|-----------------|-------------------|---------------|-------------|-------------|----------------|
| | 委員 会 | WG | 部会 | 理事会 [報告] | 公 示 | 部会 (公 示 後案) | 理 事 会 | | | |
| 地下水面上の地盤を対象とした透水試験方法基準 | 調 査 | 10 | 2015 11/5 | 2015 11/24 | 2016 2月号 | 2017 11/6 | 2017 11/24 | 2018 2月号 | | |
| 過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法 | 室 内 | 4 | | | 2015 11・12月号 | | 2016 3/15 | 2016 5月号 | 済 | 2017年12 月** |
| 水圧破砕法による初期地圧の測定方法 | 調 査 | 3 | 2016 1/7 | 2016 1/26 | 2016 4月号 | 2017 11/6 | 2017 11/24 | 2018 2月号 | | |
| 低透水材料の透水試験方法 | 室 内 | 9 | 2017 11/6 | | 2018 1月号 | | | | | |
| [改正]岩石の弾性波速度計測方法 (旧: JGS 2110-2009 パルス～) | 室 内 | 4 | 2018/ 3/6 | | | | | | | |
| 軟岩の変形特性を求めるための繰返し三軸試験方法 | 室 内 | 4 | 2018/ 3/6 | | | | | | | |
| 岩石の供試体の作製方法 | 室 内 | 4 | 2018/ 3/6 | | | | | | | |
| JIS 規格素案 (改正 7 件) 1202-1204,1216,1225,1226 | 室 内 | 1 | 2017/ 7/4 | 2017/ 7/28 | 2017 10月号 | 2018/ 3/6 | | | | 赤本 2019 予定 |
| JIS 規格素案 (改正 7 件) 1201,1205,1209,1223,1224,1210,1211, 1228 | 室 内 | | 2017 /9/7 | 2017/ 9/29 | 2017 11・12月号 | 2018/ 3/6 | | | | 赤本 2019 予定 |
| JIS 規格素案 (改正 3 件) 1217, 1218, 1227 | 室 内 | 3 | 2017 11/6 | 2017/ 11/24 | 2018 1月号 | | | | | 赤本 2019 予定 |

*地盤工学会ウェブサイト 「基準一覧」 への掲載 **小冊子での刊行

6. 日本工業規格 (JIS)

| 規格名 | 担当 | | JSA 提出 | 申出完了連絡 | 土木技術 専門委員会 | | | | 刊行 |
|-------------|-----|----|--------|-------------|---------------|--|--|--|----|
| | 委員会 | WG | | | | | | | |
| 地盤工学用語 | 表記法 | - | | 2017 9/1 | 2018 3/2 | | | | |
| 動的コーン貫入試験方法 | 調査 | 11 | | 2017 9/1 | 2018 3/2 | | | | |

7. 部会・委員会・WG 開催状況

委員会・WG 数: 常設委員会 6、常設委員会の WG:34 (内、受託:2)、JSA 公募原案作成:3、その他:1 計: 44

| 委員会名 | 長 | | 委員会開催日、 <u>下線</u> は開催予定 |
|--|----------------|--------|---|
| 基準部会 | 仙頭 紀明 | 5 | 4/20(書面), 7/4, 9/7, 11/6, 1/15 |
| ISO 国内委員会 | 浅田 素之 | 1 | 8/31 |
| ・WG1: TC182 国内専門委員会 ・ 広域地盤特性評価法 WG [受託] | 木幡 行宏 宮田 喜壽 | - 1 | 12/1, |
| ・WG2: TC190 国内専門委員会 ・ 広域地盤特性評価法 WG [受託] | 川端 淳一 坂井 宏行 | 1 7 | 12/8 4/21, 5/17, 6/7, 7/20, 8/22, 8/30,10/6, |
| ・WG3: TC221 国内専門委員会 | 椋木 俊文 | - | |
| 室内試験規格・基準委員会 | 豊田 浩史 | - | |
| ・WG1 物理特性 | 杉井 俊夫 | 1 | 11/17 |
| ・WG2 化学特性 | 肴倉 宏史 | 3 | 4/28, 8/3, 2/13 |
| ・WG3 透水・圧密特性 | 渡部 要一 | 1 | 10/16 |
| ・WG4 力学特性 | 澁谷 啓 | 3 | 7/19, 8/10, 12/15 |
| ・WG5 安定化・締固め特性 | 横田 聖哉 | 3 | 5/16, 8/8,9/22 |
| ・WG6 ジオシンセティックス | 木幡 行宏 | 1 | 5/26, |
| ・ JIS 原案作成委員会 (ジオシンセティックス用語) | 木幡 行宏 | 3 | 12/8, 12/18*, 1/15, <u>3/14</u> *は本委員会 |
| ・WG7 特殊土の試験 | 風間 基樹 | | |
| ・WG8 赤本改訂版の総説執筆 | 豊田 浩史 | | |
| ・WG9 低透水性土質材料の透水試験方法基準化 | 西垣 誠 | | |
| ・WG10 「土質試験 基本と手引き」改訂 | 大島 昭彦 | | |
| 地盤調査規格・基準委員会 | 末政 直晃 | 1 | 10/6, 2/19 |
| ・WG1 物理探査・検層 | 斎藤 秀樹 | 1 | 11/17 |
| ・WG2 ボーリング・サンプリング | 正垣 孝晴 | | |
| ・WG3 地下水 | 進士 喜英 | 3 | 7/6, 12/25, <u>3/29</u> |
| ・WG4 サウンディング | 大島 昭彦 | | |
| ・WG5 載荷試験 | 大島 昭彦 | | |
| ・WG6 現場密度試験 | 三嶋 信雄 | | |
| ・WG7 現地計測 | 上野 将司 | | |
| ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング | 江種 伸之 | | |
| ・WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査 | 長田 昌彦 | | |
| ・WG10 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法 基準化WG | 西垣 誠 | | [2017年7月解散・基準理事会承認までの活動はWG3に引き継ぎ] |
| ・WG11 動的コーン貫入試験方法 JIS 規格化 WG | 大島 昭彦 | - | |
| ・ JIS 原案作成委員会 (動的コーン貫入試験方法) | 末政 直晃 | 2 | 5/10, 6/12 |
| ・WG13 水圧破壊による初期地圧測定法の基準化検討WG | 伊藤 高敏 | 3 | 5/18, 11/9, 12/21 |
| ・WG15 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討WG | 谷 和夫 | 1 | 11/2, 1/15 |
| 地盤設計・施工基準委員会 | 木幡 行宏 | | |
| ・WG1 土構造物 | 本城 勇介 | | |
| ・WG2 杭の水平載荷試験 | 中井 正一 | | |
| ・WG3 グラウンドアンカー | 山田 浩 | | |
| ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 | 寺師 昌明 | | |
| ・WG5 地山補強土 | 龍岡 文夫 | | |
| ・WG6 杭の鉛直載荷試験方法の改定検討 | 菊池 喜昭 | 3 | 7/27 (打合せ) , 10/30, 12/22, |
| 地盤工学表記法委員会 | 大島 昭彦 | | |
| ・ JIS 原案作成委員会 (地盤工学表記法) | 大島 昭彦 | 3 | 4/7, 5/19, 6/7, |

| | | | |
|----------------------------|----------------|--------|-----------------------------|
| 技能試験実施委員会 ・ 活動検証・再評価 WG | 日置 和昭 仙頭 紀明 | 2 2 | 12/11, 12/25 10/27, 12/4 |
| 基準英訳化に関する実行委員会 | 竹下 祐二 | 3 | 4/20 (書面) ,7/4, 9/7 |

7. その他

(1) 理事会 (3月16日 (金)) への審議事項・報告事項

・ 審議 3.委員等の異動、報告: JIS規格改正素案・地盤工学会基準の公示報告

(2) 総務部会 (2018年3月9日 (金) 開催予定) への提案事項

(3) 次回以降の部会開催日

・ 平成30年度 (2018年度) 第1回: 第1案 平成30年 [2018年] 4月24日 (火) 14:00~17:00

(対応理事会 or 書面)

★ 平成29年度 理事会 開催日程 (予定含む)

① 4月21日 (金) ※書面審議

② 5月19日 (金)

★ 6月9日 (金) 総会/理事会

③ 6月16日 (金) ※書面審議

④ 7月28日 (金)

⑤ 9月29日 (金)

⑥ 10月27日 (金) ※書面審議

⑦ 11月24日 (金)

⑧ 12月22日 (金) ※書面審議

⑨ 1月26日 (金)

⑩ 2月23日 (金) ※書面審議

⑪ 3月16日 (金)

⑫ 4月20日 (金) ※書面審議

⑬ 5月18日 (金)

★ 6月6日 (水) 総会/理事会